

たらぎ議会だより

No.126

令和5年2月2日
熊本県多良木町議会発行



12月定例会議

年頭挨拶 P 2～3

一般質問 P 6～9

議会の動き P 10

天神さんで初詣



2023 本年もよろしくお願ひします



議長 橋 裕子
たかはし ゆうこ

議会の、町の「飛躍の年」(その年をきっかけに将来的により良い方向へ進んでいく最初の年)を目指し行動したい。



議員 田 俊策
はしだ しゅんさく

西郷隆盛は山岡鉄舟を評し「金も名誉も命もいらぬ人は始末に困るが、そんな人でないと国家の偉業は成し遂げぬ」と。私も心に留めて頑張ろう。



議員 村 山 昇
むらやま のぼる

皆様にとって笑顔あふれる一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



副議長 中 村 正徳
なかむら まさのり

この町が好きだから「元気ある町づくり」少子・高齢化対策これまでも・これからも全力で取りくみます。



議員 坂 口 幸法
さかぐち ゆきのり

天災は忘れた頃にやってきます！自助・共助による防災意識の向上を、住民の皆さんと一緒に目指したい。



議員 魚 住 憲一
うおずみ けんいち

今年の干支「卯」にあやかり、飛躍できるよう頑張りたいと思います。また、コロナが一日も早く終息しますように。



議員 嶋 たまみ
けしま たまみ

「初心忘るべからず」今年もきちんとした仕事が出るよう皆様の声を聞きながら頑張っていきたい。



議員 久保田 武治
くぼた たけはる

戦争できる国に変えようと「軍拡」にひた走る岸田自公政権から平和・くらし・福祉を守るためにも声を上げます。



議員 猪 原 清
いはら きよし

今年は世界が平和に向け一丸となる年です。地域も一丸となり誰一人取り残さない地域にしていきたいように。



議員 豊 永 好人
とよなが よしと

人がつくる。安心・安全・共生ができるいきいきとした活力ある町づくりと本町に住み続けたい町の実現に向けて邁進します。



議員 宇 佐 信行
うさ のぶゆき

3年後、5年後先を見ずえ山積する町の課題に、住民の声を聞きながら信念を持って議会活動に専念したい。



議員 落 合 健治
おちあい けんじ

本年は卯年！躍進できる年だと言われています。住民の声を聞き、どの方向にどんな躍進を目指すのか考えます。

たらぎまちづくり推進機構は!?

総務産業常任委員会

地方自治法の規定により一般財団法人たらぎまちづくり推進機構（たらぎ財団）の事業経営状況（R2年度～R3年度）の報告を受けた。

主な事業内容は、

1. 地方創生推進交付金事業

- ①組織の体制強化事業（職員育成・研修、法人の営業及び広報等）
- ※1②商品高度化事業（シェフツアーの開催、Webサイトの運営等）
- ③グローバル人材育成事業（企業・大学と連携した人材育成）
- ※2④プログラミング教育の推進（ICT関連企業との事業連携等）



※1 オーナーシェフによるジビエ料理開発



※2 DeNAによるプログラミング授業

2. ふるさと納税事業

3. 地域おこし協力隊コーディネート等業務委託

4. 移住定住促進業務

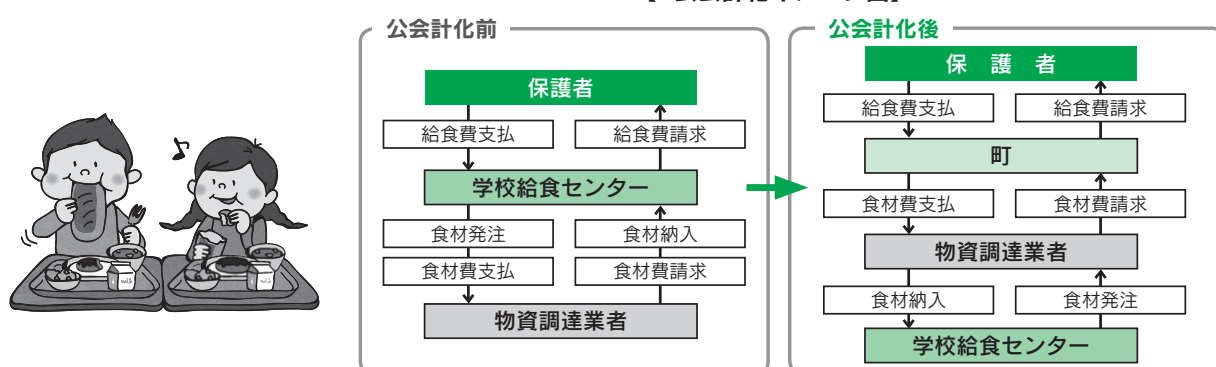
今後も毎年度の事業計画及び決算の報告を受け、財団の今後を注視していく。

これからの給食費は？

厚生建設文教常任委員会

本町の学校給食は、子ども達が義務教育である小・中学校を健やかに過ごせるようにと考え行う町の事業である。平成25年より米代金は町が負担、平成29年からは米代金の負担と食材の購入費半額助成を行っている。①栄養補給 ②みんなで同じものを食べる ③経済格差の解消 ④親の負担を減らす ⑤食育 これらの項目がより良い方向に進んで行けるよう議員間での協議を進めている。今回、給食費の取り扱いが※公会計になる事をきっかけに全額無料化の意見もある。給食の意味・財源・少子化対策の中で求められているものは何か、様々に絡み合う問題に向き合いながら子ども達を真ん中にした協議が求められる。

【※公会計化イメージ図】



台風14号林業用施設災害復旧工事に 1億3,000万円を補正！ 総額90億734万5千円!!

一般会計予算

補正予算の主な事業



災害を受けた槻木南線

- 林業用施設災害復旧工事（槻木北線・南線）
1億3,000万円
- 公共土木施設災害復旧工事（11箇所）
5,000万円
- ふれあい交流センター光熱水費（えびすの湯）
609万2千円

報告

専決処分

2億4,148万9千円を追加!!

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費
9,111万9千円
・マイナンバーカード取得・口座登録を要件として1人1万円を給付！
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費
6,487万8千円
・R4年度住民税非課税世帯を対象に、1世帯5万円を給付！（1,240世帯想定）

主な条例改正等

- 多良木町学校給食費条例を定めることについて・・・P5参照
・R5年度から学校給食費を町が徴収！（学校給食費の公会計化に伴う新規制定）
- 公の施設における指定管理者の指定について
・「あいあいスポーツクラブたらぎ」が町民体育館・武道館・多目的総合グラウンドの指定管理者に！
- 町議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて・・・P10参照
・物価の変動等により選挙公営の限度額を引き上げ！

その他の条例改正11件を全て可決!!

特別会計補正

会計名	補正額	予算総額
下水道事業	263万9千円	3億930万6千円
介護保険	1,272万8千円	15億9,272万5千円

令和4年度12月定例会議は6日から13日までとし、報告1件・同文議決1件・条例等14件・補正予算3件を審議し可決した。一般質問では4人の議員が執行部の考えを質した。

坂口 幸法 議員



くることが想定されることから、本町を含む上球磨4力町村が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されている。協議会等を検討すべきでは。

町長

早急に協議会を作らなくてはいけないと思うので、町村長等に提案したい。

質問

Q 広域的防災拠点の整備は

A 整備しておく必要がある

大規模災害に備え県・市町村の連携だけでなく、国・都道府県・民間との連携を強化し、広域的な応援・支援体制を整備することが重要である。そこで多目的総合グラウンド・中学校跡地も含めた広域的な防災拠点整備の構築を図るべきでは。

町長

南海トラフ地震発生後、多くの避難民が近隣である球磨人吉地域に押し寄せて

質問

住民の生命・財産を守るため防災拠点を整備しておく必要がある。また、将来的に中学校跡地はかさ上げを行い防災拠点として整備していければと思う。

広域的防災拠点を



Q 給水タンクの設置は

A 協議し設置する

質問

災害用給水タンク（貯水機能付給水管）の設置、広域的な観点から給水車導入の考えは。

林田建設課長

現在建設中の中学校敷地内への設置を危機管理防災課と検討している。

Q 備蓄品・倉庫の整備は

A 地元の区長と協議

質問

大規模災害時、孤立化する地域に対しての食料や飲料水など最低限必要な備蓄品並びに倉庫の整備は。

椎葉危機管理防災課長

現在、特に孤立する可能性が高い楓木地区には備蓄しているが、北部地区にお

いても孤立する可能性がある。地元の区長と協議し、備蓄できればと考えている。倉庫の整備については、設置場所等の制限もあるので、公民館・小学校に備蓄できないか併せて協議したい。



災害用給水タンク

《その他の質問》

- ① デジタル田園都市国家構想交付金について
- ② 農業振興について

Q 部活動の社会体育への移行は

A 中学校はこれから

質問

社会体育への移行はスムーズに進んでいるのか。

黒木生涯学習課長

小学校に関しては社会体育移行検討委員会で計6回の検討をしスムーズに移行できた。中学校部活動の地

域移行についてはこれから同様の手続きを踏まえて進めていく。また県からの説明会の中で、休日の部活動の段階的な移行を進め、運動部活動はR7年、文化部は8年度をめどに地域移行する説明があっている。

Q 備蓄品の利活用は

A 訓練時に利用

質問

備蓄品には有効期限があるが期限が迫っている物資の取扱いはどうするのか。

椎葉危機管理防災課長

明確な取決め等はないが、食料品に関しては期限が

迫っている物資から訓練時に利用している。

質問

生理用品に有効期限は記載されていないが、何年位保管しようと考えているのか。

椎葉危機管理防災課長

メーカーに問い合わせ、3年から5年だと聞いたので、3年間を目安に保管していく。

質問

R6年に約1千個、R7年に約8百個がメーカーが推奨する期限を迎える。これをふまえ、学校トイレに生理用品を置くことに関しての見解は。

佐藤教育長

球磨管内の状況は、あさぎり町では実施すると言われた。人吉市では6月から9月まで試行され、今検証作業が行われていて、そこで見えてきた課題もある。資源の有効活用ということ

Q 農家への支援は

A 協議する

質問

機械購入にあたり認定農家さえ補助事業の対象にならないのが現状である。機械があればできるのが農業であるが、高齢になると機械を買うか離農するかの選択になる。高齢でも使える町独自の支援はできないか。

町長

中高年の方々が離農されるということになれば耕作地が荒れてしまうので、研究してみたい。

質問

原油・物価高騰で農家経営は厳しい状況にある。資材が高騰すると面積を減ら

す農家が増える。資材への支援はできないか。

町長

資材の高騰は普通の上がり方ではない。農家の方の苦労はよくわかる。担当課と協議する。

《その他の質問》

- ① 結婚新生活支援事業について

源嶋たまみ 議員



くぼた たけはる
久保田 武治 議員



質問

農業・畜産業の支援策として、4千900万円の予算が計上されたが取り組みは。

小林産業振興課長

飼料高騰対策に約2千600百万円（26件）を、施設園芸燃油高騰対策に約327万円（13件）を支出している。

質問

コロナ禍での物価上昇に苦しみひとり親、子育て世帯の支援策は。

新堀福祉課長

質問
中小零細事業所の支援策は。

Q 中小零細事業所の支援は

A 状況把握が困難で厳しい

小林産業振興課長
業種が広範囲で多種であるため、状況把握が困難であり補助は厳しい。

生活困窮者や低所得者の支援策は。

新堀福祉課長

町独自の支援策は考えて



多業種への支援が求められる！

Q 給食費の全額無料化は

A 財源確保ができれば判断

質問

物価高騰対策として、給食費を一定期間無料化する自治体があるが、検討できないか。

町長

短期間の減免は考えていない。

町長
財源の確保、余裕がでてくれば議会と相談し判断したい。

Q 町内「教員不足」の現状は

A 加配職員3名が未配置

質問

「教員不足」が問題化しているが、本町の現状は。

黒木生涯学習課長

国の基準定数はみたしているが、小中学校合わせて3名の[※]加配職員が未配置である。

質問
教育事務所・教育委員会・

校長会でどのような議論をしているのか。

佐藤教育長

情報を収集し人材を探しているが現状は厳しい。教育長会からも国・県に強く要望していく。

質問

教員不足は児童生徒の、人間形成・町の教育力に直

Q 災害対策は

A 迅速に対応

質問

台風14号などで停電や断水被害が発生したが、危険個所を調査把握しているのか。また、今後講じる対策は。

林田建設課長

水道施設については、被災の可能性がある施設は把握している。防止策は困難なため、被災した場合は迅速な復旧対応をと考えている。

椎葉危機管理防災課長

消防団・建設課・危機管理防災課により現地確認を行い、対応できる部分には対策を講じている。

質問

震災時の通電火災を防ぐ感震ブレイカー普及支援は。



あさぎり町断水のため給水車が出動（熊日 HP）

椎葉危機管理防災課長

回覧等により周知を行い普及に努める。

町長

今後、国からの補助等を調べて検討する。

《その他の質問》

①交通事故発生危険個所の解消は

Q 不登校対策は

A 「適応指導教室」を設けたい

質問

不登校問題等の相談窓口としての役割も持つ子育て世代包括支援センターを設置するというところであるが、その資格要件（社会福祉士の資格を有し、一定期間以上の実務経験等）を満たす職員はいるのか。

新堀福祉課長

福祉課に2名所属し、一人は成人に対する相談支援に、一人は要保護児童・家庭に対する相談支援業務に当たっている。

質問

不登校対策について国県からの指示等は来ているか。

黒木生涯学習課長

平成29年4月に^{※1}不登校特例校設置の努力義務等が明記された通知が来ている。

質問

不登校ゼロに向けた具体的な対策は。

佐藤教育長

具体的で継続的な取り組みとして、不登校生の居場所づくりとしての「適応指導教室」^{※2}を来年度、学校以外の場所に設けることができないか考えている。

※1 不登校特例校とは
不登校児童生徒を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校

※2 適応指導教室とは
教育委員会が長期欠席している不登校生を対象に学校とは別の場所で復帰のための支援をする教室

教育	
小中学校の不登校の数 (小中の合計)	教育用情報端末の 台数
2020年度 19万6127人	2020年3月 子ども4.9人に1台
2021年度 24万4940人	2022年3月 子ども0.9人に1台
文部科学省の 「問題行動・不登校調査」から	文部科学省の 「教育の情報化に関する実態調査」から
小中学校の不登校の数（小中の合計）と教育用情報端末の台数	
不登校数を報じた朝日新聞デジタル	



い はら
猪原 清 議員

ふるさとワーキングホリデーの可能性は！

厚生建設文教常任委員会政務活動報告



盛岡市のワーホリ拠点にて

「ふるさとワーキングホリデー」という新制度がH27年1月よりスタートした。地域で働き収入を得ると共に、休日は自由に過ごせるという取り組みで「地域交流」「移住定住」「地域活性化」「地域の魅力発信」などの目的をもつ。我が委員会は、先進地の一つである東北の活動が活発な拠点を研修した。岩手県盛岡市の取り組み

は告知・周知・活動だけでなく県と市がタッグ

を組み様々な方向から支援し、地域に興味がある人には出来るかぎり地域に取り込み根付いてもらう。一番驚きだったのは中心になり活動してる人材が企業の社員で、考え方の柔軟性や対応に今後の更なる飛躍を感じた。今回研修を終え感じたのは、人材の大切さである。本町も人口減少が課題となる中、マーケティングするような人材が適切な場所・時間で働けるように提言し、この研修を活かしていきたい。

現地で見た流水型ダム

総務産業常任委員会政務活動報告



浅川ダムHP

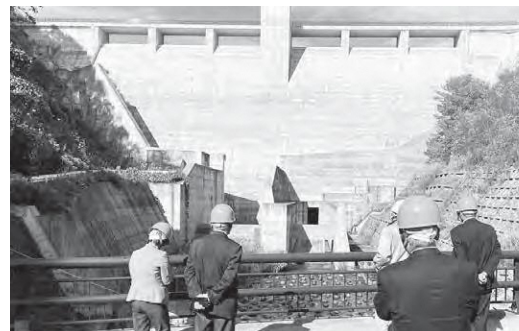
現在県で進められている「県営川辺川ダム（流水型ダム）」と同じ機能を有する「長野県営浅川ダム」を現地調査した。

計画 利水目的で計画された浅川ダムは、長野県知事交代のたびに本体工事が中止されたり河川改修や遊水池計画などの検討を繰り返して平成18年治水専用ダム計画が確定した。当初は地元住民以外の反対運動も見られたが、もともと崩壊土砂が流入しやすい地域であり大きな反対運動には発展しなかった。

機能 ダムと河川改修の組み合わせにより治水に加え地域の環境保全の機能も有している。

現在 100年に一度の水害に対応する安全性を期して建設されたダムだが、長野県の降水量が少ないことから今までの最高水位は8mであり、普段は地域に開かれた施設として遠足や野外学習の場となっていて、ダム祭りを開催することで地域住民との交流が盛んになっている。

今後 長野市の水害は千曲川からの内水氾濫が主であり、浅川支流河川の改修が進められている。



下流から県営浅川ダムを臨む

「改革に終わりなし」議会は今！！ ～ 議員定数と費用弁償について考える ～

「人口減少社会」や「議員のなり手不足」といった全国共通の問題に直面する中「議会はどうかあるべきか」様々な論議を重ねてきた。

まず、「議員の定数問題」は本町人口が8千人台になり、近い将来、近隣町村に見られるように「無投票」といった現状に陥ることの懸念と現在の12人の定数が適正であるのか、選挙なしでの当選が果たして町民の信任・付託を受けたこととなるのか、また一方で定数減により町民の声を議会の場へ反映することが難しくなるのではないかと議論がなされてきた。

また、なり手不足に対しては全国的な傾向ではあるが「なぜその様な現状」になってきているのかの現状分析の中から重責、時間的拘束のわりに「報酬」が少なく、若い人たちが子育てに係る負担を考えると高い志はあるものの出馬に踏み切ることができないのではないかと意見が出てきた。

議論の結果、今期の議会人として一定程度の結論を導くべく①議員定数削減といったいわゆる「身を切る改革」をなすこと②これまで「議会改革」の更なる前進のため一部支給していなかった、地方自治法の中で規定されている「議員の費用弁償」を適正に予算化していくこと、以上2点をまず手始めに進めるべき「改革」であると位置づけることを確認した。

議会での正式な決定はこれからではあるが、「改革に終わりなし」を胸にこれからも議論を重ねていかなければならない。

この他にも議会ではこのようなことを論議しています！！

- ・多良木町議会の個人情報保護に関する条例の制定について
- ・多良木町議会政治倫理条例の一部改正について
関係法の改正に伴い、条例の制定等についての議論を重ねています。

議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担が一部改正されました！！

最近における物価の変動等に鑑み、選挙公営の限度額が引き上げられました。

		改正後
選挙運動用自動車の使用の公費	自動車借入 1台	16,100 円／日
	燃 料 費	7,700 円／日
選挙運動用ビラの作成の公費	議員 1,600 枚・町長 5,000 枚	7 円 73 銭／1 枚
選挙運動用ポスターの公費	印刷費（上限額 330,885 円）	541 円 31 銭／1 枚

※ポスターの公費は本町の掲示板数に応じて上限額が設定されています。



飛躍の年！うさぎ年

豆ちしき

4月はいよいよ町の議員選挙ばい



多良子

4月には町議会議員の選挙のあつとじゃろ？

じゃったい！今度は「法律」の変わって選挙に立候補すつときゃ15万円の「供託金」のいっとなげな



多良子

そらー、物入りになっばいねー！

ばってんが、選挙に使う選挙カーやらポスター・ビラの費用は「公費」で賄わるつことになって、候補者の均等性が図つことすつとなげな！



多良子

そぎゃんね！そいから議会もいろいろ「改革」の動きのあつとなげな

議会は「少子化やら人口減少」そして「議員のなり手不足」について色々と論議してきやって「身を切る改革」ば目指して「議員の定数」やら「費用弁償」なんかの方向性ば出しやつとなげな！



多良子

どぎゃんしやつと？

3月の議会じゃはつきりすつどばってん、議員ば減らして、こいまで一部貰わずにおつた「費用弁償」ば貰うごとしやつとなげな



多良子

もう人口も8千人台になって令和10年頃には小学校の新入生も町全体で40人ぐらいしかおいやれんげなもんね



多良子

議会は今後んことば考えて改革しやっちゃろでおいどんもしっかり今後んことば考えていかんばんと思うばい

本当考えんばんねー



球磨雄



球磨雄



球磨雄



球磨雄



球磨雄

編集後記

群馬県の草津温泉に行かれたことがあるだろうか。

電車も無く、行くにはバスか乗用車での移動になる。高崎駅から2時間程の辺境であり、山の中の町である。温泉が湧き出その恩恵を受け、沢山の宿泊施設とお店で賑わっている。人吉球磨も肥薩線が復旧の見通しもつかず、くま川鉄道も全面開通まで、しばらくかかる。条件的には余り変わらないがこの違いは何だろう。ある物を有効に生かし、人を呼ぶ工夫が必要なのではないかと思う。価格転嫁できていない農業も変わっていかなければならない。コロナの終息と世界情勢の平安を心から願う。今年はいよいようさぎ年、飛躍できる一年であらう。

(文責 源嶋たまみ)

広報特別委員会構成

◎林田 俊策 中村 正徳
○源嶋たまみ 坂口 幸法
猪原 清 落合 健治